

政策番号	7	政策分野	スポーツ
------	---	------	------

基本方針	「だれもが、いつでも、どこでも、いろんなかたちでスポーツやレクリエーションに親しめる環境を、みんなで支え合うまちづくり」を関係団体（地域のスポーツボランティア団体、競技団体、学校、企業など）や指定管理者と行政が一体となって進める。そのことにより、市民ひとりひとりがスポーツやレクリエーションそのものを楽しむことはもちろん、健康や感動など市民生活に豊かさをもたらすとともに、環境、教育、観光、経済などさまざまな分野の京都のまちづくりをより魅力あるものにする。
------	--

担当局	文化市民局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関係する 主な分野別計画等	京都市市民スポーツ振興計画
---------------------	---------------

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価	23年度 評価値	32年度 目標値	25 年度	26 年度	27年度評価				
					前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 週1回以上運動やスポーツをする市民の割合(%)	47.2	65	a	b	47.1	44.1	55	80.2%	b
2 市内でプロスポーツやトップスポーツを直接観戦した市民の割合(%)	27.3	30%以上	a	a	26.1	25.2	26.6	94.7%	b
3 スポーツ活動にボランティアとして参加した市民の割合(%)	11.8	10	c	d	8.5	5.5	11.8	46.6%	e
			a	b					c

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	25年度	26年度	27年度
0701	それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちづくり(「するスポーツ」)(1指標)	a	a	a
0702	トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちづくり(「みるスポーツ」)(1指標)	a	a	a
0703	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり(「支えるスポーツ」)(1指標)	a	a	b
(3施策平均)		a	a	a

政策の客観指標総合評価	25年度	26年度	27年度
(政策の客観指標評価: 施策の客観指標評価=1:0.5)	—	b	b

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		25年度	26年度	27年度
1	気軽に体を動かしたり、スポーツやレクリエーションを楽しんだりする機会がある。	c	c	c
2	プロスポーツやトップレベルのスポーツに身近に触れる機会がある。	d	d	d
3	スポーツイベントや運動会、レクリエーションなどの活動を、スタッフやボランティアとして支えるひが増えている。	c	c	c
市民生活実感調査総合評価		c	c	c

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

25年度		26年度		27年度	
順位	%	順位	%	順位	%
27	66.6%	27	67.6%	27	65.2%

3 総合評価

C	政策の目的がそこそこ達成されている		
<p>【客観指標】●週1回以上運動やスポーツをする市民の割合について、スポーツ活動の場の提供に関する周知が十分でなかったことなどから前年度と比べて減少し、5割を切る状況が続いており、引き続きb評価となった。</p> <p>●市内でプロスポーツやトップスポーツを直接観戦した市民の割合が減少し、a→b評価となった。</p> <p>●スポーツ活動にボランティアとして参加した市民の割合は、スポーツ活動に係るボランティアについての周知が足りず、前年度に引き続き減少したことから、d→e評価に悪化した。</p> <p>【市民の実感】●スポーツやレクリエーションを楽しんだりする機会については、スポーツ等を気軽に楽しむ機会が広く認知されていないことから、3年連続c評価が続いている。</p> <p>●トップレベルのスポーツに身近に触れる機会については、広報・集客が十分でないため、3年連続d評価と低い評価が続いていると考えられる。</p> <p>●スタッフやボランティアとして支えるひとについては、スタッフ・ボランティア参加に関する機会の認識が十分でないため、3年連続c評価が続いていると考えられる。</p> <p>【総括】週1回以上運動やスポーツをする市民の割合、市内でプロスポーツやトップスポーツを直接観戦した市民の割合、スポーツ活動にボランティアとして参加した市民の割合は、今年度いずれも減少したこと等からB→C評価となった。</p>		26年度	B
		25年度	B

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		25	26	27
0701	それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちづくり(「するスポーツ」)	B	B	B
0702	トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちづくり(「みるスポーツ」)	C	C	C
0703	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり(「支えるスポーツ」)	B	B	C

<今後の方向性>

- それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちの実現に向け、施設の効果的・効率的な整備や、スポーツを楽しむ機会の提供、それらを支える人材の育成に取り組む。
- トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちの実現に向け、競技環境と観戦環境の充実、京都マラソンなどのスポーツイベントの開催、プロスポーツの観戦機会の提供に取り組む。
- 多様なスポーツ活動を支え合っているまちの実現に向け、誰もが利用しやすい施設の提供、スポーツを支える仕組みづくり、スポーツを支える人材の確保・育成に取り組む。
- より多くの市民が運動やスポーツを楽しむためには、するスポーツ・みるスポーツ・支えるスポーツ、以上の3点からのスポーツの楽しみを、これまで以上に市民に力強くPRしていく。

政策名	7	スポーツ	
指標名	週1回以上運動やスポーツをする市民の割合（％）		
担当部室	市民スポーツ振興室	連絡先	
		3 6 6 - 0 1 6 8	
1 指標の説明			
週1回以上運動やスポーツをする市民の割合			
2 指標の意味		3 算出方法・出典等	
「するスポーツ」をいろいろな形で楽しめる環境が作られていることを示す指標		算出方法：20歳以上の市民3,000人を対象としたアンケートで1年間に週1回以上運動やスポーツをしたことがあると回答した市民の割合 出典：事業担当課調べ	
4 数値			
10年後の(平成32年度)目標値	平成24年度評価値 47.2	平成32年度目標値 65	根拠 京都市市民スポーツ振興計画
	前回数値 25年度	最新数値 26年度	推移
数値	47.1	44.1	3%減少
	単年度目標値		達成度
	数値		根拠
数値	55		22年度現況値(48.4%)と32年度目標値から当該年度達成すべき数字を等比的に算出
	単年度目標値		達成度
	数値		根拠
数値	55		22年度現況値(48.4%)と32年度目標値から当該年度達成すべき数字を等比的に算出
	全国順位	中長期目標	
	数値	目標年次	達成度
数値			根拠
	中長期目標		備考
	数値		
5 評価基準		6 基準説明	7 評価結果
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満		当該指標については、目標達成以上をa，以下を20%刻みで基準を設定した。	25 26 27 a b b

指標名	市内でプロスポーツやトップスポーツを直接観戦した市民の割合（％）		
担当部室	市民スポーツ振興室	連絡先	
		3 6 6 - 0 1 6 8	
1 指標の説明			
市内でプロスポーツやトップスポーツを直接観戦した市民の割合			
2 指標の意味		3 算出方法・出典等	
トップレベルのスポーツに身近に触れられ、「みるスポーツ」をいろいろな形で楽しめる環境が作られていることを示す指標		算出方法：20歳以上の市民3,000人を対象としたアンケートで1年間にプロスポーツやトップスポーツを直接観戦したことがあると回答した市民の割合 出典：事業担当課調べ	
4 数値			
10年後の(平成32年度)目標値	平成24年度評価値 27.3	平成32年度目標値 30%以上	根拠 京都市市民スポーツ振興計画
	前回数値 25年度	最新数値 26年度	推移
数値	26.1	25.2	0.9%減少
	単年度目標値		達成度
	数値		根拠
数値	26.6		22年度現況値(24.4%)と32年度目標値から当該年度達成すべき数字を等比的に算出
	単年度目標値		達成度
	数値		根拠
数値	26.6		22年度現況値(24.4%)と32年度目標値から当該年度達成すべき数字を等比的に算出
	全国順位	中長期目標	
	数値	目標年次	達成度
数値			根拠
	中長期目標		備考
	数値		
5 評価基準		6 基準説明	7 評価結果
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満		当該指標については、目標達成以上をa，以下を20%刻みで基準を設定した。	25 26 27 a a b

政策名	7	スポーツ
-----	---	------

指標名	スポーツ活動にボランティアとして参加した市民の割合 (%)
-----	-------------------------------

担当部室	市民スポーツ振興室	連絡先	366-0169
------	-----------	-----	----------

1 指標の説明

スポーツ活動にボランティアとして参加した市民の割合

2 指標の意味

市民の間で多様なスポーツ活動を支え合う動きが活発化する状況を示す指標(支えるスポーツ)

3 算出方法・出典等

算出方法：20歳以上の市民3,000人を対象としたアンケートで1年間にスポーツ活動に運営ボランティアとして参加したことがあると回答した市民の割合 出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の(平成32年度)目標値	平成24年度評価値	平成32年度目標値	根拠
	11.8	10	京都市市民スポーツ振興計画

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		達成度
	25年度	26年度		数値	根拠	
数値	8.5	5.5	3%減少	11.8	過去最高数値を目標値とする。	46.6%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値					

備考	
----	--

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a:100%以上
b:90%以上~100%未満
c:80%以上~90%未満
d:70%以上~80%未満
e:70%未満

6 基準説明

当該指標については、目標値以上を達成したときをaとし、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

25	26	27
c	d	e